



日刊 千葉労働動力

国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 千葉 (22) 7207 番

91.6.26 No. 3417

6・23集会
発言報告

反戦の声、 都心にうずまく

反戦自衛官・反対同盟・
沖繩から特別報告を受ける

反戦自衛官・片岡頭二氏 ほか

四・二五防衛庁長官に対し実力
決起した反戦自衛官です。

侵略戦争の第一歩である掃海艇
派遣に反対するこの行動に対し、

当局は不当逮捕し一ヶ月後免職処
分を強行してきた。

人民・大衆の側に立ち、行動し
たことに対する弾圧を許すならば、

新たな徴兵制・非国民という時代
に逆行する。より以上に行動する
ことが求められている。

反対同盟・北原鉦治氏
杜共の保守への迎合、海外派兵
は侵略と虐殺の道へと逆行するこ

成田空港では、一月一七日から
の湾岸戦争へ日の丸をつけた輸送
機が出発していった。まさに軍事
空港としての姿が証明されている。

今集会を出発点として、新たな
反戦闘争、新しい潮流を、全国の
人民の中に入り、闘いをつくらう。

日本の未来を拓くことが、われわ
れの責任である。

シンポ粉砕、二期工事阻止、三
里塚空港廃港へ、決起する。

沖繩・知花盛康氏
(日の丸焼き捨て裁判被告)

今日沖繩は四六回目の慰霊祭で
ある。現在沖繩では、人々がどう
いう思いにたっているのか!

沖繩戦を経験したおじいさん、
おばあさんたちは、今までにない
危機感を持つてのぞんでいる。
社会党は基地撤去という歴史的
闘いを裏切り、自衛隊・安保を容
認していくことを明らかにした。
押し付けられた基地に対し、ど
ういう苦しい思いで生きてきたの
か。われわれは沖繩から基地を撤
去させなければならぬ。
八七年一〇月二六日、昌一さん
は日の丸を引き降ろした。
侵略戦争に加担し支えていくこ
とがあつてはならない。
一人一人が戦争に反対し、自衛
隊の海外派兵を阻止していくこと
をしなければならぬ。九二年軍
用地強制収用、九三年植樹祭、天
皇の沖繩上陸を阻止しよう。
日の丸・君が代、天皇制を粉砕
しよう。

6・30 関西新空港反対 全国集会に参加しよう

関西新空港は、当初の「九三年
三月開港」が破産し、それにかわ
る「九四年夏開港」をかかげ、デ
タラメな突貫工事が強行されてい
る。

埋立地の地盤沈下により工事費
が一・五倍にアップし、ターミナ
ルビル建設費が大きくカットされ、
また、空港連絡道も、地域と住民
生活の破壊があまりにも明らかで
あり、工事は遅々として進んでい
ない。

また、空港建設工事や関連工事
も含め、騒音、大気汚染、振動な
ど大阪湾全域を公害地獄にするこ
とは明らかである。

さらに、関西新空港は、完成す
れば四千メートル滑走路を二本持
つ軍事空港である。

六・三〇闘争を、住民の暮らし
と環境を守り、侵略と戦争のため
の軍事空港建設を阻止するたたか
いとして大爆発させよう。

動労千葉・田中書記長
国際貢献の名の下、教育が、労
組が、社会全体がおかしくなっ
ている。「まさか」が「まさか」で
なくなる事態が、全ての国民をま
きこんで進行している。
われわれは今日はっきりと拳を
振りかざし反撃に起った。
「JR体制」は西日本から瓦解
した。また信楽事故を見てもわか
る通り、「JR体制」の矛盾が火
を吹きはじめています。
動労千葉はこうした事態に対し、
反合・運転保安闘争に決起する。
JRから、全国の闘う仲間連
帯して攻撃をうち破る。

○広島労組交流センター
掃海艇派遣阻止へ四隻の抗議艇
を出し、身体をはって闘い抜いて
きた。海上保安庁の部隊の弾圧を
阻止し、二〇〇〇名の労働者・人
民が侵略Ⅱ東南アジアへの自衛隊
・海外派兵を許さない、掃海艇を
ひきもどす闘いに起った。
八・六広島へ向けてさらに闘い
抜く。

○三多摩労組交流センター
三多摩交流センター五名の労働
者へのデッチ上げ容疑Ⅱ五・一五
弾圧(団交要求を建造物侵入とし
たこと)は六月五日起訴というよ
うに、労働三権をも否定する権力
・司法の攻撃であり、全労働者へ
かけられた攻撃だ。
本人・家族を守り、奪還すべく
闘い抜く。保釈カンパへの絶大な
る協力を願う。